

# 身体／からだだと移動に見る共生の契機

日時：2021年3月18日(木)午前 9:30～12:50

報告1：久島桃代氏

「ロビン・ロングハーストに見る、からだ・空間・つながり」

報告2：土井清美氏

「スペイン・サンティアゴ徒歩巡礼における叙述語的世界  
—移動の詩学と場所の誘惑あるいはマゾヒズム」

コメンテーター：森正人氏

## ◆登壇者紹介◆

久島桃代氏：愛知工業大学地域防災研究センター研究員。専門分野は人文地理学、フェミニズム。単著「『からだ』という空間—フェミニスト地理学の誕生からロビン・ロングハーストまで」(空間・社会・地理思想20巻、2017)、「農山村に移住する女性たちの経験と場所感覚—福島県昭和村『織姫』を事例として」(地理学評論92巻、2019)

土井清美氏：中央学院大学現代教養学部講師。専門分野は文化人類学、巡礼・観光研究。単著『途上と目的地—スペイン サンティアゴ徒歩巡礼路旅の民族誌』(春風社、2015)、共著『景観人類学—身体・政治・マテリアリティ』(時潮社、2016)。

森正人氏：三重大学人文学部教授。専門分野は文化地理学。単著『ハゲに悩む—劣等感の社会史』(ちくま新書、2013)、『四国遍路—八十八ヶ所の歴史と文化』(中公新書、2014)、『豊かさ幻想—戦後日本が目指したもの』(角川学芸出版、2019)など。

オンライン開催 (Zoom会議システム利用)・参加無料  
3月17日(水)17時までに下記よりお申し込みください

<https://forms.gle/dw1Nw94SXPAjYbccA>

問い合わせ先: [sugie.ai@b.mbox.nagoya-u.ac.jp](mailto:sugie.ai@b.mbox.nagoya-u.ac.jp)

主催：名古屋大学高等研究院YLC共同研究採択課題

「移動と共生—移民・難民をめぐるグローバル・スタディーズ」

